

(案)

令和元年 月 日

愛知県環境影響評価審査会  
会長 松尾直規様

愛知県環境影響評価審査会  
尾張北部ごみ処理施設部会  
部会長

尾張都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）尾張北部環境  
組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る環境影響評価方法書  
について（報告）

平成31年4月19日に審査を付託されたこのことについては、別添のとおりです。

尾張都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）尾張北部環境組合ごみ  
処理施設（仮称）整備事業に係る環境影響評価方法書についての部会報告（案）

はじめに

尾張都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）尾張北部環境組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る環境影響評価方法書について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

都市計画決定権者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に環境影響評価を実施し、その結果を踏まえ環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。

1 全般的事項

- （1）事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。
- （2）新たなごみ処理施設（以下「計画施設」という。）の処理方式は、ストーカ式焼却炉を始めとする3つの処理方式の中から今後検討して決定するとしているが、決定に係る比較検討の経緯及び内容をわかりやすく示すこと。  
なお、準備書作成までに処理方式が決定していない場合には、処理方式ごとに排出ガス等の諸元を適切に設定の上、予測及び評価を行うこと。
- （3）調査地点及び予測地点について、適切に設定するとともに、その理由をわかりやすく示すこと。
- （4）環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、選定された項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

2 大気質、騒音及び超低周波音、振動、悪臭

- （1）事業実施区域が木曾川沿いに位置しているため特異な風向・風速を有すると考えられること、煙突の高さが航空法の制限を受けるためダウンドラフト等により

塩化水素等の短期濃度が高くなることが懸念されることから、大気質について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

- (2) 既存の2施設を1施設に集約して計画施設が建設され、廃棄物運搬車両等の交通量が増加することが想定されることから、大気質、騒音及び振動の道路沿道への影響について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

また、道路沿道の環境に十分配慮した廃棄物運搬車両等の運行計画を作成するよう構成市町に働きかけること。

- (3) 事業実施区域の近隣に住居が存在することから、施設の供用による騒音、振動及び悪臭について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

### 3 地盤・土壌

掘削・盛土等の土工に係る土壌環境の現地調査について、掘削が想定される位置及び深度を考慮して、調査地点及び調査深度を適切に設定すること。

### 4 動物、植物、生態系

事業実施区域は木曾川沿いに位置しており、主にシイ・カシ二次林で構成されていることから、工事の実施及び施設の存在による動物、植物及び生態系への影響について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

なお、現地調査において重要な種が確認された場合には、必要に応じて専門家等の指導、助言を得ながら、適切な環境保全措置を検討すること。

### 5 景観

事業実施区域の近隣に住居が存在することから、建屋や煙突（以下「建屋等」という。）による圧迫感が懸念されるため、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

なお、建屋等の形状、色彩等の検討に当たっては、周辺景観と調和したものとなるように努めること。

## 6 温室効果ガス等

計画施設から発生するエネルギーの有効利用を行い、温室効果ガス等の低減に努め、適切に予測及び評価を行うこと。

## 7 その他

準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、わかりやすい図書となるよう努めること。

## 検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
平成31年4月19日	審 査 会	知事からの諮問 方法書の内容の検討 部会の設置及び付託
令和元年6月19日	部 会	方法書の内容の検討 関係市町長意見の検討 岐阜県知事意見等の検討 部会報告の検討

## 愛知県環境影響評価審査会尾張北部ごみ処理施設部会構成員

上島 通浩	名古屋市立大学大学院医学研究科教授
佐野 泰之	愛知工業大学工学部教授
東海林 孝幸	豊橋技術科学大学大学院工学研究科講師
中野 正樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
中山 恵子	中京大学経済学部教授
西田 佐知子	名古屋大学博物館准教授
葉山 嘉一	公益財団法人日本鳥類保護連盟評議員
櫃田 珠実	名古屋芸術大学芸術学部教授
義家 亮	名古屋大学大学院工学研究科准教授

◎部会長 ○部会長代理

(敬称略、五十音順)